



RAKUWA  
lecture of health

第11回 洛和メディカルフェスティバル スペシャル版

第121回 らくわ健康教室

2012年10月26日



# 緩和ケア病棟って どんなところ

～ 痛みやつらさを和らげる ～

洛和会音羽病院 緩和ケア内科 部長 ばば ゆうこう 馬場 祐康



子どもたちのために、未来へ…

洛和会ヘルスケアシステム<sup>®</sup>

洛和会丸太町病院 洛和会音羽病院  
洛和会音羽記念病院 洛和会みささぎ病院

# 緩和ケア病棟ってどんなところ ～ 痛みやつらさを和らげる ～

## 疾患死亡率の推移と現状

1981 (昭和 56) 年以降、わが国の疾患別死亡率1位はがんです。

### ● 現状(2011年)

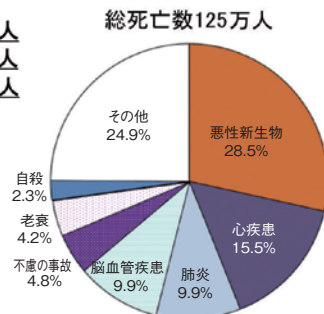
全 国	人 口	1億2,778万人
	死 亡 者 数	125万3,066人
	がん死亡者数	35万7,305人 (28.5%)
京 都 府	人 口	263万人
	死 亡 者 数	2万4,733人
	がん死亡者数	7,415人 (30.0%)



### ● 死亡原因(2011年)

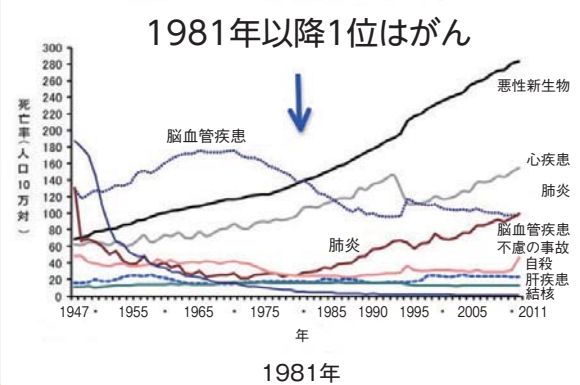
1. 悪性新生物 35.7 万人
2. 心疾患 19.4 万人
3. 肺炎 12.5 万人
4. 脳血管 12.4 万人
5. 不慮の事故 5.9 万人
6. 老衰 5.2 万人
7. 自殺 2.9 万人
8. 腎不全 2.5 万人

- | 【男】   | 【女】   |
|-------|-------|
| 1. 肺  | 1. 大腸 |
| 2. 胃  | 2. 肺  |
| 3. 大腸 | 3. 胃  |



(厚生労働省人口動態統計より)

### ● 疾患別死亡率(2011年まで)



## 痛みについて

「痛みとは、なんらかの傷が発生し、また差し迫ったり、それに続く不快な感覚および感情的体験で常に主観的なものである。」  
(国際疼痛学会)

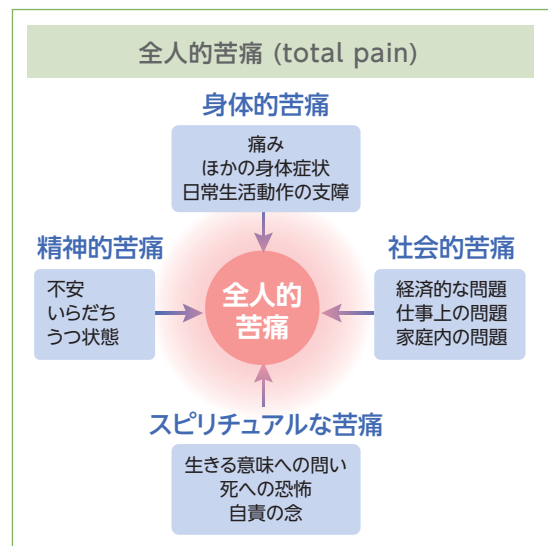


「苦痛はひとを時間の一点、空間の一点に閉じ込める。人を孤立させる。」  
(哲学者・鷲田清一)

個人的な経験である「痛み」を伝えてもらうことが第一です。

## 全人的苦痛 (total pain)

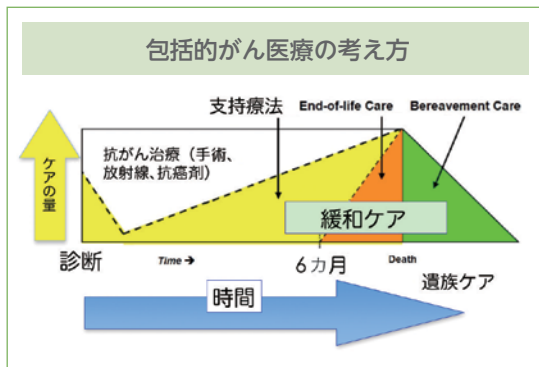
がん患者さまの苦痛は多面的であり、全人的に捉える必要があります。





## 緩和ケアとは？

「緩和ケアとは、生命を脅かす疾患による問題に直面している患者さまとご家族に対して、疾患の早期より痛み、身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアルな問題に関して正確に評価を行い、それが障害とならないように予防したり対処することで、QOL（生活の質）を改善するためのアプローチである。」（世界保健機関〈WHO〉2002）



### ◆ ホスピスと緩和ケア

#### ●ホスピス：「人を温かくもてなす」

1960年代、英国の医師  
シシリー・ソングースの活躍により誕生。

#### ●緩和ケア：

1970年代、カナダの医師 バルフォアにより誕生。

- ① 人間の生きることの多面性を尊重。
- ② 患者と家族と一緒に支援する。
- ③ 苦痛を軽減し、人生の質を高める。
- ④ 多職種チームで活動する。

### ◆ がん対策基本法（2007年施行）

- ① がんの予防、早期発見の推進
- ② がん医療の均てん化
- ③ がん患者の療養生活の質の維持向上

自治体…緩和医療、生活の質維持向上の施策  
医師…緩和ケア知識を習得(PEACEプロジェクト)  
国民…がんを知ること、検診を受けること

## 緩和ケアをとりまく現状

- 症状緩和が不十分である。
- 医療用麻薬の消費量は少ない。
- 苦痛緩和に満足しているのは半数。
- 希望する療養場所は変化する。

### 緩和ケア病棟の役割

#### 1) 緩和ケア病棟

- ① 症状マネジメント
- ② ご家族のケア
- ③ 在宅の支援
- ④ 最後の療養（生活）の場
- ⑤ ご遺族のケア

- 2) 一般（急性期）病棟への往診
- 3) 緩和ケア科外来



## 緩和ケア病棟の特徴

- ① 生きる潤いと穏やかな日常生活
- ② 全人的ケア  
= 医学+宗教+心理・哲学+福祉+  
補完・代替療法+潤いを与えるケア  
※例：アロマ、音楽、ボランティアとの交流

1990年にわずか5カ所だった緩和ケア施設数は、2011年には225施設（4,473床）となっています。



## よくあるご質問 (FAQ)

緩和ケア病棟について、寄せられたご質問のなかから、よく頂くものです。



**Q** 亡くなる前の患者さまが入院できないのですか？

**A** 緩和ケア病棟は死を待つ場所ではありません。症状緩和ができた患者さまには、自宅生活へ戻ることを支援しています。

**Q** 外出・外泊はできるのですか？

**A** 状態により準備が必要ですが、患者さまのご家族の希望があり、医師が許可した場合には実現できるよう支援しています。

**Q** 家族の付き添いはできますか？

**A** 可能です。各病室や家族室（2室）の利用が可能です。面会は24時間可能ですので、ご家族やご友人とゆっくり過ごすことができます。

**Q** 何でもしてくれるところなのですか？

**A** つらい症状を緩和するケアを行いますが、24時間、何でもするという意味ではありません。自律・尊厳を尊重して治療にあたります。ご家族は、ご家族としての役割を担っていただくこととなります。

**Q** 全ての苦痛が取れますか？

**A** 薬、ケアの工夫・精神的支援などで9割は除痛できるとされています。いまだに緩和の困難な症状もあり、意識低下をもたらす「鎮静」が必要となる場合もあります。

